

まほろばあいサポート通信



奈良県福祉医療部障害福祉課 令和6年3月7日発行

～あいサポーター学習の紹介～

まほろば「あいサポート運動」を担う将来の「あいサポーター」養成のため、令和5年度、奈良市立西大寺北小学校と奈良市立佐保小学校の2校にご協力いただき、小学4年生を対象に、「障害に関すること」や「ちょっとした手助けをするにはどうすればよいか？」を学ぶ授業を実施しました。

授業を受けていただいた児童のみなさんに、「あいサポーターキッズ」の証である「あいサポートキッズストラップ」をお渡しました。



授業の様子

講師の緊張が伝わったのか、児童のみなさんも少し緊張した様子でした。質問には手を挙げて発言し、たくさんの児童がヘルプマークを知っていると話してくれました。

補助犬について

補助犬と一緒にお店や交通機関等で、利用できることを知らない児童が多くいました。今回のあいサポーター学習で、法律で決まっていることを知ってもらうことができました。



手話・障害に関するマークについて

以前に学校で手話について学習したことがあるようで、楽しんで手話をすることができました。障害に関するマークについて、名前には知らないけれど、マークは見たことがあるという声がありました。今回の学習で少しでも知ってもらうことができました。



あいサポーター学習

学習内容

- まほろば「あいサポート運動」とは？
- 「障害」ってなんだろう？
- 「心のバリアフリー」ってなんだろう？
- 障害に関するマークとは？
- 手話にチャレンジ
- 振り返り

キッズテキスト



キッズストラップ

感想(抜粋)

- 人を助けるのは大事なんだなと思いました。なぜなら、一人ではできないことがいろいろあるからです。特に目が見えない人は、盲導犬がいないと生活できない人がいるので、手伝いたいです。いろいろな人を助けたいです。
- 話を聞いて知らなかったことや見た目だけでは分からない障害があることがわかった。いろいろな障害があることを伝えられるようにマークがあることが分かったので、今日から障害のある人の手伝いをしようと思った。

令和6年度より、本格的にあいサポーター学習を実施していく予定です。子どもたちに、障害について知ってもらう機会とし、「あいサポートキッズ」を養成していきます。